

秋

の交通安全 県民総ぐるみ運動

2025年

9月21日(日)

9月30日(火)



宮城県ホームページ内
「令和7年秋の交通安全県民総ぐるみ運動」
コンテンツはこちらから↑



宮城県警察ホームページ内
交通安全企画課サイトはこちらから↑

自転車のルールを守ろう！

シートベルトが命を守る

飲酒運転はダメ

危険な横断はやめよう

女子スケートボーダー

あかま りず

赤間 凜音選手

東北高等学校

TRAFFIC SAFETY MIYAGI

9月30日(火)は交通事故死ゼロを目指す日

宮城県・宮城県警察

県内の交通事故発生状況(令和7年上半期)

● 交通死亡事故は18件発生

令和7年6月末の交通死亡事故は18件18人で、前年と比べて-5件-5人と減少しています。

● 高齢者の交通死亡事故が多発

高齢者が死亡する交通事故は10件10人で、全死者数の半数以上(55.6%)となっています。また、高齢運転者による死亡事故は6件6人で、前年と比べて、2件2人増加しています。

● 自転車線はみ出し事故が約4割

正面衝突・工作物衝突・路外逸脱の合計は、7件7人で、全事故の約4割(38.9%)となっています。

区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	1,753	18	18	228	1,907	2,135
前 年	1,798	23	23	222	1,957	2,179
増 減	数	-45	-5	6	-50	-44
	率	-2.5	-21.7	2.7	-2.6	-2.0

夕暮れ時から夜間、早朝の交通事故を防ごう ～見えないを 見えるに変える 反射材～

夕暮れ時は、周囲の視界が徐々に悪くなり、自動車や自転車、歩行者などの発見がお互いに遅れたり、距離や速度が分かりにくくなります。県内では、夕暮れ時から夜間、早朝にかけて、交通死亡事故が発生する傾向にあります。ドライバーは、前照灯の早め点灯を行い、歩行者や自転車利用者は明るい服装をしたり、反射材・ライトを活用し、自分の存在を周囲に知らせるようにしましょう。

早めのライト点灯

ハイビームの

こまめな切り替えを!

早めのライト点灯で自分の車の存在を周囲に知らせましょう。
ハイビームを活用して歩行者を早めに発見しましょう。
速度を落として、安全確認の徹底を!



夜間ドライバーから歩行者が見える距離

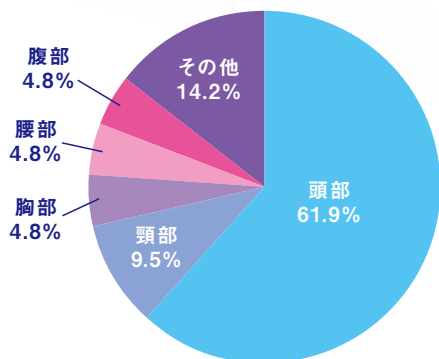


反射材着用
約57m以上



自転車の交通ルールを守ろう ～ヘルメット かぶるあなたは かっこいい～

- 過去5年間(令和2年～令和6年)の自転車乗車中の死傷者のうち、ヘルメットを着用していた人の割合はわずか約9.4%にすぎず、ヘルメット非着用の死者は20人にのぼります。
- 令和6年に実施した自転車ヘルメット着用状況の全国調査で、宮城県のヘルメット着用率は13.1%と、全国平均(17.0%)を下回っています。



自転車乗用中死者の損傷主部位比較
【宮城県内 令和2年～令和6年中】

みんなでかぶろう ヘルメット



交通事故の被害を軽減するためには
頭部を守ることが重要です!

自転車安全利用5則

- ① 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用

